

平成 28 年度大学コンソーシアムあきた 学生交流活動報告書

団体等名

日本赤十字秋田看護大学

日本赤十字秋田短期大学

代表者

所属・学年 日本赤十字秋田短期大学 2 年

氏名 三浦 豪

活動の名称（イベント名等）

赤十字みんなの冬季防災キャンプ

今年度の活動内容

1) 「3.11 から未来へ 心に刻む いま、私たちにできることプロジェクト」

日時：平成 28 年 3 月 10 日（木）

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：県内の大学生、高校生、一般市民 100 名が参加

内容：大学生 50 名が、東日本大震災の記憶を風化させないことと、地域住民の防災意識の向上をめざし、黙祷、防災キャンプの取組発表、炊き出しコンテスト、トークセッション、ワークショップ等を行いました。

2) 「熊本地震募金活動」

日時：平成 28 年 4 月 25 日～5 月 4 日

場所：4 月 25 日（月）～4 月 28 日（木）の 4 日間は本学キャンパスで、4 月 30 日（土）、5 月 1 日（日）の 2 日間は秋田駅ポポロードと千秋公園で、さらに、5 月 3 日（火）、4 日（水）の 2 日間はクアドーム「ザ・ブーン」で行われたイベントへ参加し、それぞれ募金活動を行いました。

対象：一般市民

内容：平成 28 年 4 月 14 日に起こった熊本地震の報道を受け、大学生約 200 名が先頭となって自ら「被災地の人たちのために何かしたい」と立ち上がり、本学学生のみならず、他大学の学生たちや市民の方々と協力し、本学内外の様々な場所で募金活動を行いました。この募金活動に賛同してくださった皆様から寄せられた義援金の合計は 116 万 6,554 円となりました。この義援金は全額を被災地に送るべく、5 月 19 日に日本赤十字社秋田県支部にお渡ししました。

3) 「赤十字みんなの防災キャンプ」

日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）～26 日（日）一泊二日

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：大学生 71 名（日本赤十字秋田看護大学 30 名、日本赤十字秋田短期大学 30 名、秋田大学 8 名、秋田県立大学 3 名）

内容：大学生が大規模災害発生時にライフラインが絶たれた状況を想定した防災キャンプを自ら実践し、災害時に医療拠点などで用いる大型のドラッシュテント設営・撤去作業をはじめさまざまな場で活用できるロープ操作等々、防災に役立つスキルを学びました。

4) 「赤十字みんなの防災サマーキャンプ」

日時：平成 28 年 7 月 30 日（土）～31 日（日）一泊二日

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：大学生 42 名（日本赤十字秋田看護大学 4 名、日本赤十字秋田短期大学 32 名、秋田大学 3 名、国際教養大学 2 名、御所野中学校 1 名）

内容：大学生が大規模災害発生時にライフラインが絶たれた状況を想定した防災キャンプを自ら実践し、避難所設営や炊き出し、熊本地震で課題となった「車中泊」に対するテント支援などを行いました。

5) 学会発表

「日本災害看護学会第 18 回年次大会交流集会」での発表

題目：「防災キャンプから地域防災力向上を図る取り組み―「赤十字みんなの防災キャンプ」を通して成長する学生たち―」

日時：平成 28 年 8 月 26 日（金）～27 日（土）

場所：久留米シティプラザ

6) 「2016 AKITA 防災キャンプフェス」

日時：平成 28 年 9 月 24 日（土）～25 日（日）一泊二日

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：大学生 63 名（日本赤十字秋田看護大学 15 名、日本赤十字秋田短期大学 40 名、秋田大学 8 名）

内容：キャンプをはじめとするアウトドアの活動に興味を持ってもらい、遊びの中から防災意識を身に付けてもらうことを目的に開催した。約 4500 人の来場があり、テレビ、ラジオ、新聞などの各種メディアに報道されました。

7) 「外国人地震もしも研修会」

日時：平成 28 年 10 月 22 日（土）

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：県内在住の外国人 50 名

内容：秋田県国際交流センターが主催し、言葉や文化の違いから災害弱者になりやすい外国人を対象に、大学生が日本語を分からない外国人に対して講義内容を通訳し、講義は、東日本大震災被害状況や熊本地震で「テントプロジェクト」に参加した活動

報告などを紹介して、アウトドア用品を活用することで「命が救える」ことを伝えました。

8) 「赤十字みんなの冬季防災キャンプ」

日時：平成 29 年 2 月 25 日（土）～26 日（日）一泊二日

場所：日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学

対象：大学生 50 名（日本赤十字秋田看護大学 10 名、日本赤十字秋田短期大学 22 名、秋田大学 10 名、秋田県立大学 2 名、国際教養大学 2 名、ノースアジア大学 1 名、日本赤十字九州国際看護大学 1 名、日本赤十字北海道看護大学 1 名、秋田県立仁賀保高等学校 1 名）

内容：学生が冬季の大規模災害発生時にライフラインが絶たれた状況を想定した防災キャンプを自ら実践し、避難所設営や炊き出し等、特に極寒の状況下での避難所運営に必要な様々な知識を学びました。

経費の使用明細

- 1) アウトドア用品（防寒用品）
- 2) カイロ、炊き出し用小物、燃料

※記述が枠内に収まらない場合は、適宜枠を拡大してください。

※事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

※報告書や関係資料は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムあきたホームページでの掲載を予定しております。